

中部のおすすめの店紹介、観光案内 第4回

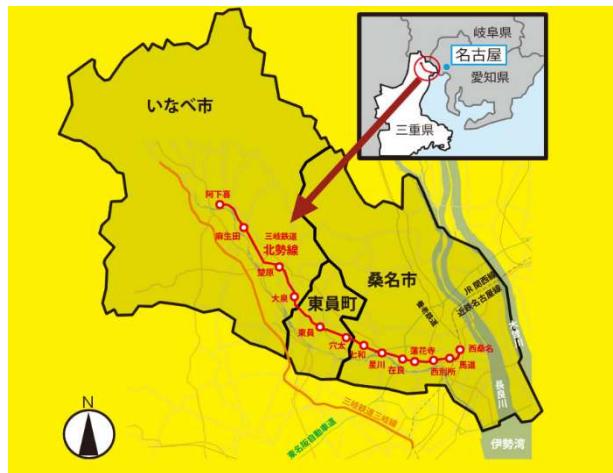
和氣 光

弊所「和気国際特許事務所」があるのは、三重県員弁郡東員町という三重県の北勢地域となります。ここは私の育った故郷でもあります。今回は、この北勢地域についてそこを走るローカル線の「三岐鉄道・北勢線」とともに紹介します。

「都市のすぐ隣にある、もうひとつの田舎」

三重県北勢地域は、県の北部、名古屋から電車でわずか20～30分ほどの場所にあります。にもかかわらず、少し足を踏み入れただけで、時間の流れがふっと緩やかになる不思議なエリアです。

桑名市、いなべ市、東員町、菰野町などが含まれ、伊勢湾の海風、木曽三川の流れ、鈴鹿山脈の稜線、この三つがつくる風景が、どこか懐かしくて、あたたかい感じのする地域です。木曽三川（木曽川、長良川、揖斐川）という大きな川を渡って県をまたぐことから、名古屋まで通っていた大学でも「そんな遠くから來てるの」とよく言われました。豊田－名古屋より近いのですが・・・
(<https://www.hokuseisen.com/info/index.html>)



「地域みんなの足、そして記憶を運ぶ列車、北勢線」



北勢線の終点は、鈴鹿山脈の中の藤原岳（写真）がすぐ近くの阿下喜駅であり、ここには阿下喜温泉があります。近年、複合施設「いなべ阿下喜ベース」にリニューアルされ、温泉・サウナ・食事・宿泊が一体となった施設となっています。肌触りの良いアルカリ性天然温泉でゆったりできますし、温泉施設と併設された「新上木食堂」では、地元産の野菜や素材を使った料理が楽しめ、地産地消を意識したメニューも揃っています。温泉で体をほぐしたあと、地元の味をゆっくり味わう。

そんな時間も、この地域を訪れる醍醐味です。

(https://www.kankomie.or.jp/course/33?utm_source=chatgpt.com)

弊所のある東員町の「コスモス畠」も人気スポットです。10月上旬から下旬にかけて、転作田を利用して約200万本にのぼるコスモスが咲き誇ります。コスモス畠の場所は、東員町中部公園西側であり、東員駅から歩いて数分で到着できる距離です。

私が子供の頃は、感性が乏しく、このコスモス畠にあまり興味がありませんでしたが、今では良さが分かるようになりました。また、私の父は私の娘（父からみて孫娘）が可愛すぎるらしく、季節毎にこのコスモス畠で戯れる姿？を信じられない程撮影していました。なお、父も弁理士であり、弁理士クラブ会員です…。
(https://www.nissho-apn.co.jp/area/mie/1192971_1640.html?utm_source=chatgpt.com)



高校時代、六把野駅（今は東員駅）から馬道駅まで、この列車に揺られて通学していました。丁度この執筆をしている本日も仕事で乗っていましたが、駅周辺等以外は、昔と変わらない風景が続き、都会の速さとは違う、ゆっくりとしたリズムを感じて安心します。鈴鹿山脈に沈む夕陽は、夏は藤原岳の北寄り、冬には御在所岳の南側へと沈み、その角度で季節の移ろいを知るのが、子どものころからの変わらない感覚です。

(https://tabi-mag.jp/me0239/?utm_source=chatgpt.com)

「三重県の玄関口、桑名」

北勢線の始点でもある西桑名駅のある桑名市は、三重県の最北端であり「三重県の玄関口」としての役割を担う街です。名古屋に近く、アクセスの良さに加え、東海道五十三次の要衝として古くから栄え、江戸と京を結ぶ人と物の流れをつないできました。

「その手は桑名の焼き蛤」は、江戸時代から伝わる桑名の代名詞です。伊勢湾の恵みを受けた桑名のハマグリは肉厚で香ばしく、古くから将軍家への献上品でもありました。現在でも、駅前や旧街道沿いには、焼き蛤やしぐれ煮を味わえるお店が点在しています（特におすすめは、「食堂はまかぜ」）。また、絶叫系好きには有名な「長島スパーランド」も桑名市にあります。

名古屋方面へお越しの際には、ぜひ足を少しだけのばして、三重県の玄関口である桑名、そして豊かな自然と歴史が息づく北勢地域にもお立ち寄りください。名古屋からわずか30分ほどの距離で、穏やかな田園風景や温泉、山並みの美しさをお楽しみいただけます。